

八丈島 水産だより 12月号 2018



サンダーソニア



いよいよ今年も終わりが近づいています。八丈島ではこの時期、農家さんがサンダーソニアを育てており、オレンジ色のかわいらしい花が咲いています。

さて八丈島の各地区にある神社で毎年お祭りが行われていますが、11月24日に中之郷地区の三島神社にて例大祭が開催されました。当日は島中から集まった人がお神輿を担ぎ、かけ声とともに地域内を練り歩きました。

■ 最近の漁模様

8月から始まった八丈島のムロアジ漁は、12月までが漁期です。現在2隻が操業しており、これまでの漁獲量は昨年の同時期を上回っていますが、ここ数年の実績と比べると依然として少ない状況です。一方、今年はカマスサワラの水揚げが昨年比に大幅に増えています。そこで漁協女性部では、カマスサワラを唐揚げなどにして販売しています。



ムロアジ



水揚げ



カマスサワラ

■ くさやについて

八丈産ムロアジのくさや



伊豆諸島の名産品といえば「くさや」です。八丈島には加工業者が10店舗ほどあり、予約すれば見学できる場所もあります。島の各地区で婦人会が取りまとめて共同購入を行うなど、島では欠かせない食品です。くさやは、塩水を発酵させた「くさや汁」にムロアジ（クサヤモロ）やトビウオをつけて作ります。このくさや汁が味の決め手となるため、それぞれのお店が長い年月をかけて作り上げています。